

番号	80	災害復舊記念碑		
所在地	鹿島市飯田			
災害別	昭和２４年（１９４９）ジュディス台風　水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和２５年９月	
特記事項	碑文判読困難　復舊の舊は下の作りが旧の字になっている			



鹿島市飯田の飯田日当川と飯田川の合流地点付近に建てられている水害復旧記念碑。昭和24年8月に本県を襲ったジュディス台風は、8月16日から19日にかけて、極めてゆっくりとした動きで県内を通過し大災害をもたらした。「佐賀県災異誌」（1964年 佐賀県防災課発行）によれば、この台風による豪雨のため県内全域で、死者・行方不明者95人、住宅全壊234戸、住家流出234戸などの大きな被害が生じている。この石碑は、碑文が風化摩耗しほとんど判読困難になっているが、幸い七浦学校同窓会編の「ふるさと七浦誌」（平成4年8月31日）に全文が載せられているので引用する。

「昭和二十四年八月十七日ジュディス台風は 未曾有の強雨を伴って来襲した 刻々増水したる川は岸に溢れ 遂に午前四時区内一面は洪水の海と化し 円徳寺の門前深さは実に三尺に達した 浸水家屋床上三〇戸 床下一〇〇戸に及び護岸の石垣は見る影もなく崩壊し 田畑は流失亦多く荒涼たる惨害は当区の存亡に関するものであった。

依って区民は炎天下の八月二十五日を以て、復旧工事に着手し口口として護岸施設を治め 翌二十五年九月を以て完成した 其経費六百万円を要した 憶ふに飯田区創ってより今に至るまで幾千年 其間 我々は天災地変に遭遇したが 我等が今なお美田良畑と海に

山に存する富源の恩恵に浴するは 祖先が災害と戦ひ不屈の努力を尽くしたる賜物に外ならない されば茲に先人の遺徳を偲び 後世愛郷の具に供せん為碑を建立する

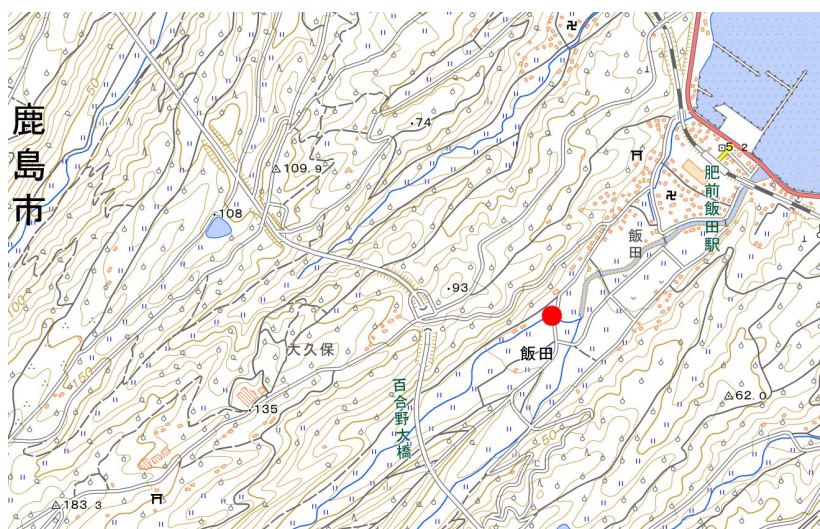
昭和二十五年九月 七浦村長 岩永久次撰 相浦一次謹書 建設代表者等氏名（略）」（原文はカタカナ表記）



碑の表面



碑の裏面（碑文）



国土地理院電子国土 Web